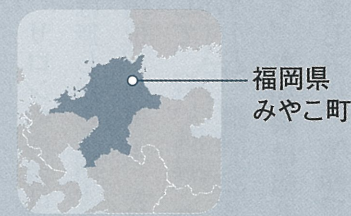




農山村支部における クラブ復活の取り組み

福岡県 みやこ町^{まち}老人クラブ連合会^{さいかわ}犀川支部

●クラブ数 31クラブ
●会員数 1967名（男性862名、女性1105名）



福岡県
みやこ町

みやこ町犀川支部は、福岡県東部・京都郡の南部に位置し、その南端は大分県に接しています。総面積は98平方キロメートルで、平成の大合併前は県内町村中3番目の広さを有していました。面積の80%は林野です。南部の伊良原地区ではダム建設が進められており、住民の立ち退きにより高齢化が一段と進んでいます。厳しい生活環境の中で孤立していく高齢者に対して、会員の増強にどのような取り組みがよいのか大きな課題です。

休会クラブの復活を目標に

昨年4月支部長を引き受けた時の支部の実

区長宅訪問の経験から学ぶ

この活動計画に基づき、単位クラブ長会議において、老人クラブの意義、必要性、支部の現状を説明し、県老連資料をもとに会員増強の取り組みをお願いしました。また、活動休止地区の区長宅等を役員3名で訪問、持参した資料により説明して、クラブ復活の協力をお願いしました。A地区の区長宅を訪問した際は、山間集落は稲作だけでなく椎茸・菊・ほおずき栽培など大変多忙なため、二度



高齢者運転講習会

態は、31クラブ中6クラブが休止中であり、会員も減少傾向でした。そこで支部の会員増強運動の活動計画を策定、「休会クラブの復活と支部会員の増強を図る」ことを目標と定め、単位クラブ長会議の開催と、休止中の地区を訪問して復活を働きかける活動を行うこととしました。特に休止地区を訪問する際には次のことに留意することとしました。

- ① 休止の主な原因を把握しておく。
・ 会員減少によるものか、役員となる人材がいないためか、会員同士の人間関係か…。
- ② 訪問宅を選定しておく。

の訪問共に農作業中で、田の畦道で立ち話でのお願いとなりました。区長からは、山間集落の高齢者の実情として、高齢化が進み自身自身の身の回りの世話がやっとの人が多く、クラブを組織しても役員になる人がいないとのことでした。役員の後継者がいないと活動が途絶え、休会・解散へと結びつくという現状が確認でき、また、車がないと集会にも参加できない地域があるなど、山間部小規模集落特有の実情や悩みを聞くことができました。が、区長たちからはクラブ復活を確約するような積極的な回答は得られませんでした。しかし、T地区の女性会員からは「復活に向けて努力するのでもう少し時間を頂きたい」との回答を頂き心強く感じました。その後、TとHの二地区の老人クラブが実際に復活しております。

二地区だけの復活で大きな成果は得られませんが、復活につながらなかった地区についても、今回の取り組みから参考となる資料が得られましたので、今後増強活動を続けていくための道筋をつけることができ大変有益でした。

活動を通して見えてきた課題もあります。「老人クラブは一体どんなことをしよるんかね」などクラブの意義や活動が理解されていないこと、活動が役員で止まって会員まで広



スポーツ大会開会式

- ・ 区長、婦人会長、地域の長老……。
- ③ 説明資料等の準備をしておく。
・ 老人クラブの意義、活動例など口頭説明の補助となるもの。具体的で分かりやすいもの（全老連・県老連の広報紙、パンフレット等）。



スポーツ大会のひとつ

がっていないこと、後継者育成にどう取り組むか、若い会員を呼び込むための名称を「明るく希望的」に変更することも方策か、女性会員の特性をどう活かすかなどです。

過疎化が著しく進む農山村地帯において少子高齢化は一層深刻な問題です。今後も老人クラブ活動を通し、「高齢者が健康で活躍できる社会づくり」を目指して、残された人生を頑張りたいと考えています。

（会長 大場直）

